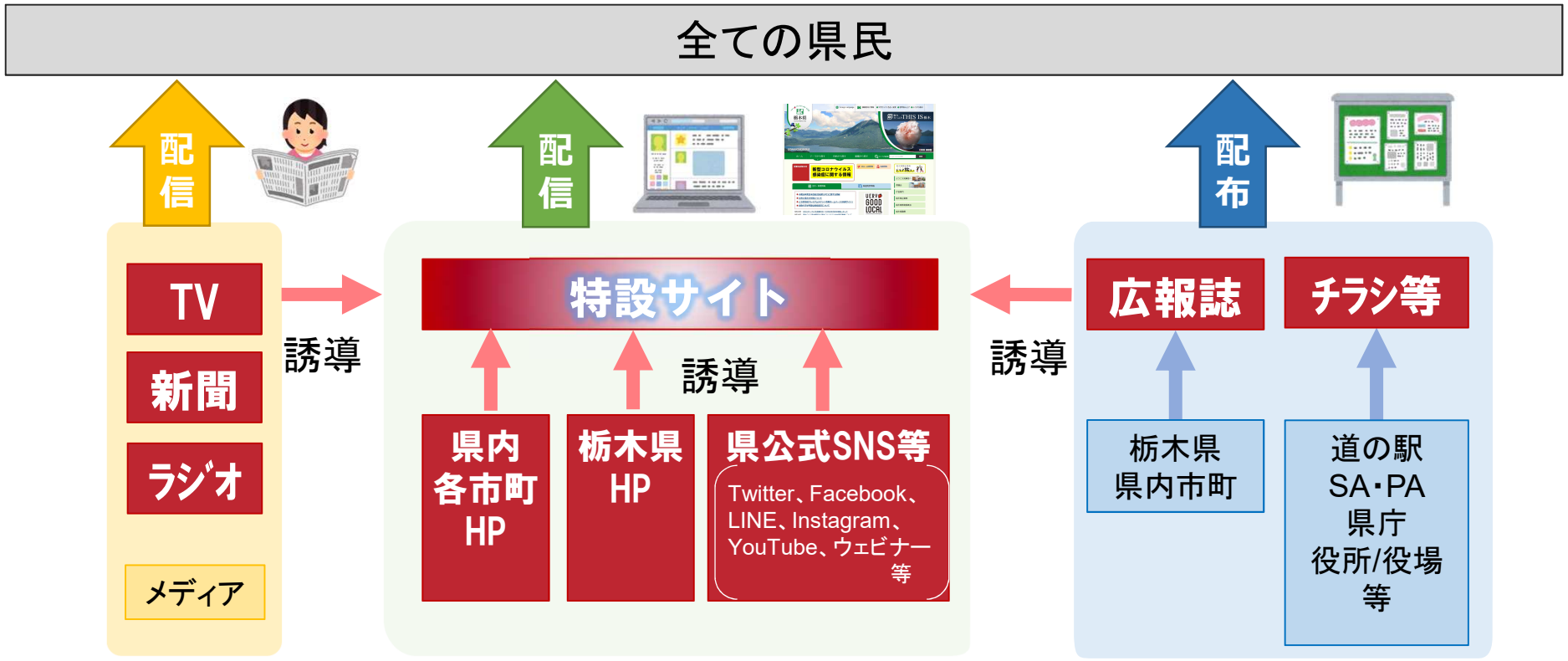
資料4

県民の理解促進の取組

栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会

1. 周知の方針

1) 本取組に関する広報の主軸となる特設サイトを開設
2) メディアや広報誌等、県民が普段から接する媒体を用いて特設サイトへ誘導
3) 全ての県民を対象に、県の無人自動運転移動サービス推進の取組を周知



さらにPRを推進する取組・工夫

栃木県マスコットキャラクター「とちまるくん」の活用
※Twitterのフォロワー数：約1.4万人

2. 特設サイトによるPR

1) 特設サイト内では、実証実験に関する最新情報や、動画を活用した実験車両の走行状況など、無人自動運転に関する取組を視覚的にわかりやすく紹介
2) 県や市町のHP、県が運用している各種SNSを活用してアクセスを促進

特設サイト

① 県における実証実験の全体計画
② 自動運転車両の紹介、実証実験の様子（動画）
③ 協議会の開催状況、ウェビナー　等

情報発信や動画配信に活用

栃木県の公式ソーシャルメディア
（Twitter、Facebook、LINE、YouTube）

【参考】常陸太田自動運転プロジェクトサイト

① 自動運転の仕組み
② 実証実験の様子

を日記形式で紹介

画像出典： みちのり自動運転プロジェクトサイト、Twitter、Facebook、YouTube

3. メディア、広報誌等によるPR

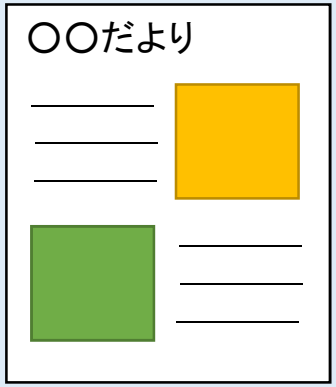
1) プレスリリースを行うことで、テレビ、新聞、ラジオ等のメディアで配信
2) 広報誌・ポスター・チラシ等により、情報通信機器を持たない人にも伝達

① 協議会の開催状況や社会実験の実施状況等をメディアで紹介
② 各世帯に配布される広報誌や人々が多く立ち寄る場所で、ポスターの掲出やチラシの配布を行い、幅広い層に取組を周知

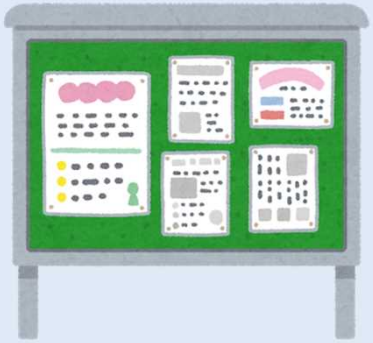
TV・新聞・ラジオ

実証実験の概要や実施状況を紹介

広報誌・チラシ等



住民向けの
自治体発行広報誌を
使った周知



県庁・役所・役場、道の駅、
SA・PA、鉄道駅、車内で
ポスターの掲出
チラシの配布

画像出典：下野新聞